

月刊

エルダリープレス

～シニアの快適生活を応援する～ シニアライフ版

2016年(平成28年)2月号 第18号

(株)高齢者住宅新聞社 〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15
TEL.03-3543-6852(編集部) 発行人 網谷敏数
http://www.koureisha-jutaku.com

—Elderly Press Newspaper—

第13回 介護旅行はぜいたくなのか

93歳の母親を旅へ連れて行きたいという相談がありました。股関節を悪くしているので、ふだんは車いすで近所の病院へ連れて出すが精一杯だといいます。認知症はなく、「どこかへ行きたいな」という母の言葉に答えてあげたい娘の思いでした。ところが、車の運転ができないので自分で連れ出すことはかなわないというのです。今年も女性の長寿が世界一となった日本では、こうした母娘世帯が増えています。

車社会は公共交通の充実した都市の一部を除いて全国にひろがり、車は一家に一台ではなく一人一台という家庭も珍しくはありません。自動車はあこがれではなく、生活必需品として地方の暮らしに根づいてきました。

かつては海外旅行もあこがれといわれた時代がありました。しかし、円が強くなったことや最近では格安航空券のLCCが就航するなどして、国内旅行をするより割安に海外へ行くことがで

旅はシニアの日常生活に

きる時代になりました。今では旅も趣味として定着し、シニア世代の中には日常生活の延長という人も少なくありません。介護旅行も一般の旅行と比べれば費用がかかるので高くなりますが、そうした人が賢沢をしている人かといえば、私の知る限りそうではありません。

相談があれば、その方のお宅まで訪ねることもありますが、高級老人ホームにいます。二枚重ねのティッシュペーパーをふたつに分け、それを四つ折りにして鼻をかむような慎ましい暮らしが自然とあらわれています。そういうお年寄



▶庭の素敵なトリトンスクエア。ソフトクリームを食べながら、おでかけ日和を楽しみました

りの何気ない日常のしぐさに、日本人の美しさと同時に凄みを感じます。そうした生き方とふれあうことが私は好きで、今の仕事を通じて、少しでもそうした人の役に立ちたいと思っています。

安全! 快適! **介護旅行**
SPIあ・える倶楽部社長
篠塚恭一



1961年千葉市生まれ。大手旅行会社の従業員を経て91年(株)SPI設立。ホスピタリティ人材の育成派遣に携わる。95年よりトラベルヘルパーの育成をはじめ、旅のユニバーサルデザイン、介護旅行「あ・える倶楽部」の普及に取り組む。06年NPO法人日本トラベルヘルパー(外出支援専門員)協会設立。著書「介護旅行に出かけませんか」(講談社)他。(株)SPI あ・える倶楽部代表取締役社長。NPO日本トラベルヘルパー(外出支援専門員)協会理事長